

様式第1 (第3条関係) (表面)

特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) 設置 (使用、変更) 届出書

提出日

年 月 日

市川市長 様

届出者 個人: 住所、氏名
法人: 住所、名称、代表者の氏名

印

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項 (第6条第1項又は第2項、第7条) の規定により、特定施設 (有害物質貯蔵指定施設) について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		〇〇宅、△△マンション	※整理番号	個人: 個人印 法人: 代表者印
工場又は事業場の所在地		市川市〇〇 △-□-×	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	66の3 イ、ロ、ハ 旅館業の用に供するちゅう房 施設、洗濯施設、入浴施設	※施設番号	
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	※審査結果	
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考	
	△特定施設の設備 (有害物質使用特定施設の場合に限る。)	別紙1の2のとおり。		
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。		
△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。			
第5条第2項関係	△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
	有害物質使用特定施設の種類	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。		
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。		
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。		
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。		
△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。			

様式第1 (裏面)

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本工業規格A4とすること。
 - 9 氏名（法人にあつてはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあつてはその代表者）が署名することができる。

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	No. 1	No. 2	No. 3
特定施設号番号及び名称	No. 66の3イ ちゅう房施設	No. 66の3ロ 洗濯施設	No. 66の3ハ 入浴施設
型式	(株)〇〇製□□□□□	(株)〇〇製□□□□□	(株)〇〇製□□□□□
構造	ステンレス製	金属製	人工大理石
主要寸法	2m×0.5m×0.8m	0.5m×0.5m×0.8m	2m×2m×2m
能力		8kg/回	
配置	別図1 参照	別図1 参照	別図1 参照
設置年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	〇〇年△△月□□日	〇〇年△△月□□日	〇〇年△△月□□日
その他参考となるべき事項			

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄に構造等を記載すること。

分流式下水道に接続している場合、下水道接続と記載してください。浄化槽使用の場合、記載は不要です。

新たに施設を設置する場合は、すべて記載してください。既に施設を設置済みで民泊を始める場合は、使用開始予定年月日のみを記載してください。
※使用開始予定年月日は、届出日の60日後（またはそれ以降）の日付を記載する必要があります。ただし、実際には予定日より早く民泊を開始できる場合がありますので、ご相談ください。

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	No. 1	No. 2	No. 3				
特定施設番号及び名称	No. 66の3 イ ちゅう房施設	No. 66の3 ロ 洗濯施設	No. 66の3 ハ 入浴施設				
設置場所	別図1 参照	別図1 参照	別図1 参照				
操業の系統	別紙6 参照	別紙6 参照	別紙6 参照				
使用時間間隔	0:00~24:00	0:00~24:00	0:00~24:00				
1日当たりの使用時間	2時間	1時間	1時間				
使用の季節的変動	なし	なし	なし				
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	/						
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 通常の排出水の量が30m³/日未満の場合は、排水基準が適用されないため、記載は不要です。 </div>						
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7	
その他参考となるべき事項	/						

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

分流式下水道に接続している場合、下水道接続と記載してください。浄化槽使用の場合、記載は不要です。

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号	合併処理浄化槽								
処理施設の設置場所	別図1 参照								
設置年月日	年 月 日				年 月 日				
工事着手予定年月日	年 月 日				年 月 日				
工事完成予定年月日	年 月 日				年 月 日				
使用開始予定年月日	〇〇年△△月□□日				年 月 日				
種類及び型式	〇〇浄化槽 △△△								
構造	別図2 参照								
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量(m ³ /日)	1.5	1.5	2	2				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

浄化槽使用の場合の記入例です。分流式下水道に接続している場合、すべて記載不要です。

通常の排出水の量が30m³/日未満の場合は、排水基準が適用されないため、記載は不要です。

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び排水経路と排水生成量は記載不要です。

分流式下水道に接続している場合、下水道接続と記載してください。浄化槽使用の場合、記載は不要です。

浄化槽使用の場合、排水口1・排水口2と記載してください。
 分流式下水道に接続している場合、下水道・排水口と記載してください。

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		排水口1		排水口2	
種類・項目	排出水の汚染状態	通常	最大	通常	最大
		通常の排水水の量が30m ³ /日未満の場合は、 排水基準が適用されないため、記載は不要です。			
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		1.5	2	0	
その他参考となるべき事項		浄化槽処理水		雨水	

備考 排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

浄化槽使用の場合、浄化槽処理水と記載してください。
 分流式下水道に接続している場合、下水道接続と記載してください。

本紙は、通常の排水量が50m³/日以上の場合のみ必要になります。
 該当する場合は浄化槽の型式適合認定書別添仕様書及び図面（別図2）の
 値を用いて作成してください。ご不明な点はお問い合わせください。

別紙5

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

						指定項目の別			化学的酸素要求量		
特定排水水	業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大	
	合 計	/	/								
特定排水水以外の排水水	種類 及び 用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合 計	/	/								
その他の参考事項	総量規制基準値の算定式 $ \begin{aligned} [\quad] \quad L &= (C_{co} \times Q_{co} + C_{ci} \times Q_{ci} + C_{cj} \times Q_{cj}) \times 10^{-3} \\ &= (\quad \times \quad + \quad \times \quad + \quad \times \quad) \times 10^{-3} \\ &= \underline{\underline{\quad \quad \quad \text{kg/日}}} \end{aligned} $										

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

本紙は、通常の排水量が50m³/日以上の場合のみ必要になります。
 該当する場合は浄化槽の型式適合認定書別添仕様書及び図面（別図2）の
 値を用いて作成してください。ご不明な点はお問い合わせください。

別紙5

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

							指定項目の別	窒素含有量			
特定排水水	業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※
		通常	最大	通常	最大	Qno	Qni	Qcj	通常	最大	
	合 計	/	/					/			
特定排水水以外の排水水	種類 及び 用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)					
		通常	最大	通常	最大	通常	最大				
	合 計	/	/								
その他の参考事項	総量規制基準値の算定式 $ \begin{aligned} [\quad] \quad L &= (Cno \times Qno + Cni \times Qni) \times 10^{-3} \\ &= (\quad \times \quad + \quad \times \quad) \times 10^{-3} \\ &= \underline{\underline{\quad \quad \quad \text{kg/日}}} \end{aligned} $										

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

本紙は、通常の排水量が50m³/日以上の場合のみ必要になります。
 該当する場合は浄化槽の型式適合認定書別添仕様書及び図面（別図2）の
 値を用いて作成してください。ご不明な点はお問い合わせください。

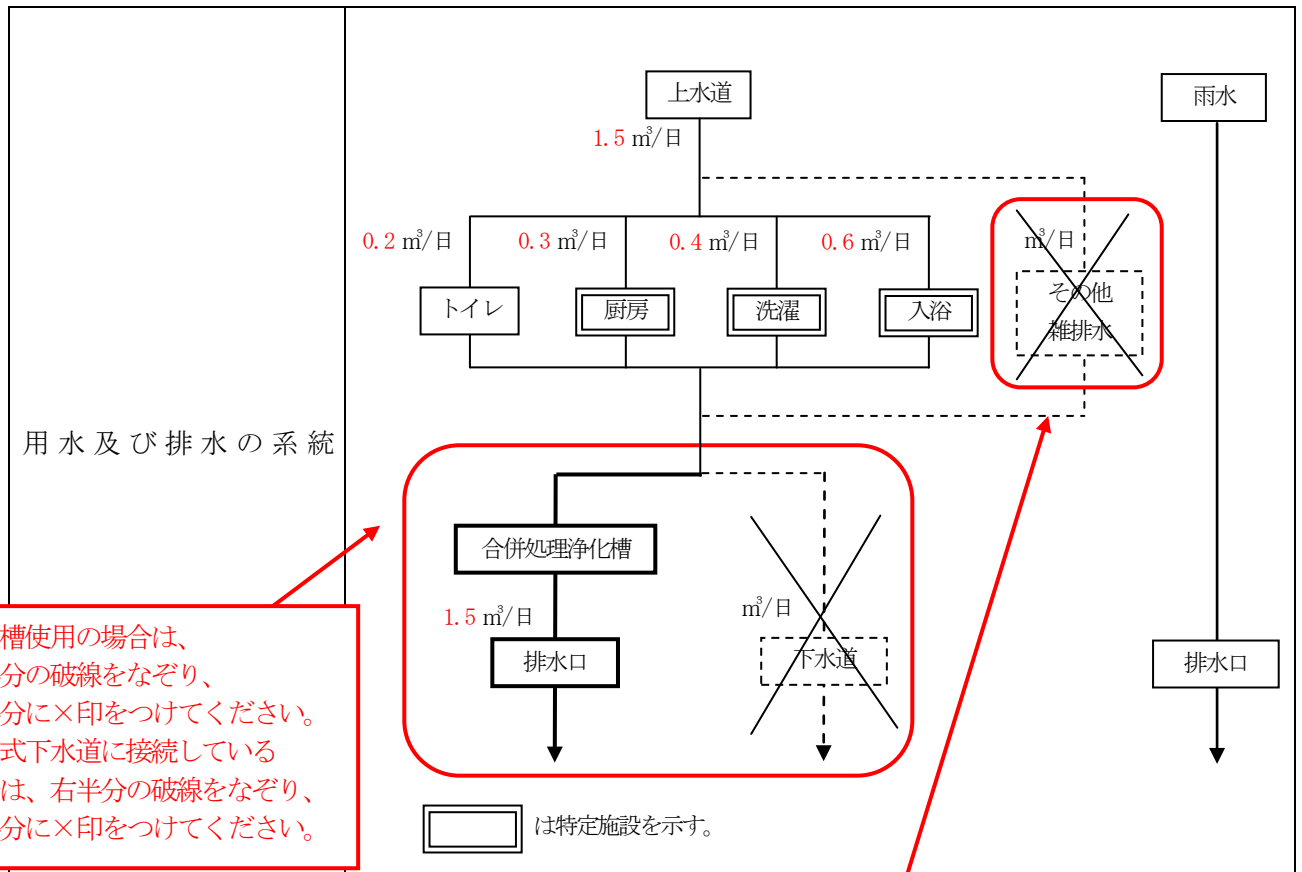
別紙5

排水の排水系統別の汚染状態及び量

							指定項目の別		りん含有量		※
業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)					汚濁負荷量 (kg/日)			
	通常	最大	通常	最大	Qpo	Qpi	Qcj	通常	最大		
特定排水											
合 計											
種類 及び 用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m ³ /日)		汚濁負荷量 (kg/日)						
	通常	最大	通常	最大	通常	最大					
特定排水 以外の 排水											
合 計											
その 他 の 参 考 事 項	総量規制基準値の算定式 $[\quad] \quad L = (C_{po} \times Q_{po} + C_{pi} \times Q_{pi}) \times 10^{-3}$ $= (\quad \times \quad + \quad \times \quad) \times 10^{-3}$ $= \underline{\underline{\quad \quad \quad \text{kg/日}}}}$										

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
 - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
 - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 4 りん含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
 - 5 ※印の欄には記載しないこと。

用水及び排水の系統



浄化槽使用の場合は、左半分の破線をなぞり、右半分に×印をつけてください。分流式下水道に接続している場合は、右半分の破線をなぞり、左半分に×印をつけてください。

用途別用水量	用途	使用水	用水量(m³/日)
		生活用	上水道

その他の排水がない場合は×印をつけてください。その他の排水がある場合は破線をなぞり、排水量の合計を記載してください。
 ※その他の排水とは、ホームステイ型の民泊において家主が使用するために設置された設備からの排水や、マンション等において民泊サービスを提供しない部屋からの排水などです。
 ご不明な点はお問い合わせください。

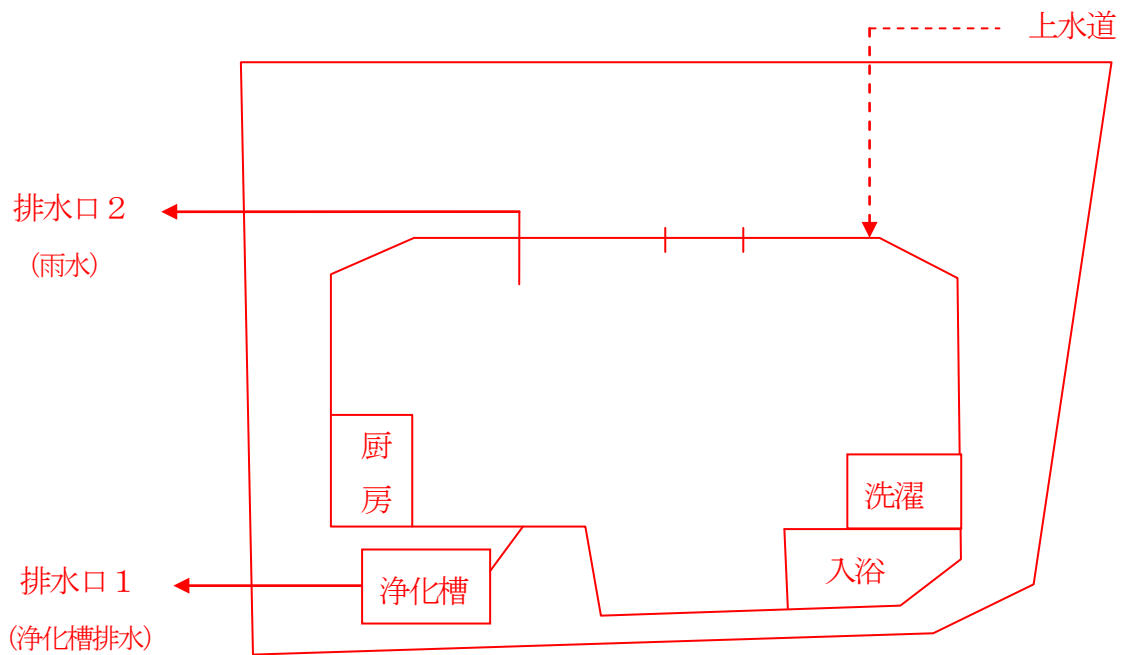
1. 事業場平面図

(第1図)

(特定施設、処理施設の設置場所、集水及び導水の方法、排出水の排出方法)

特定施設の配置等について記載してください。図面を添付しても構いません。
マンション等の場合は、民泊として使用する部屋の位置と特定施設の配置が、
それぞれわかるように記載してください(次のページを参照)。

(例1) 戸建ての場合

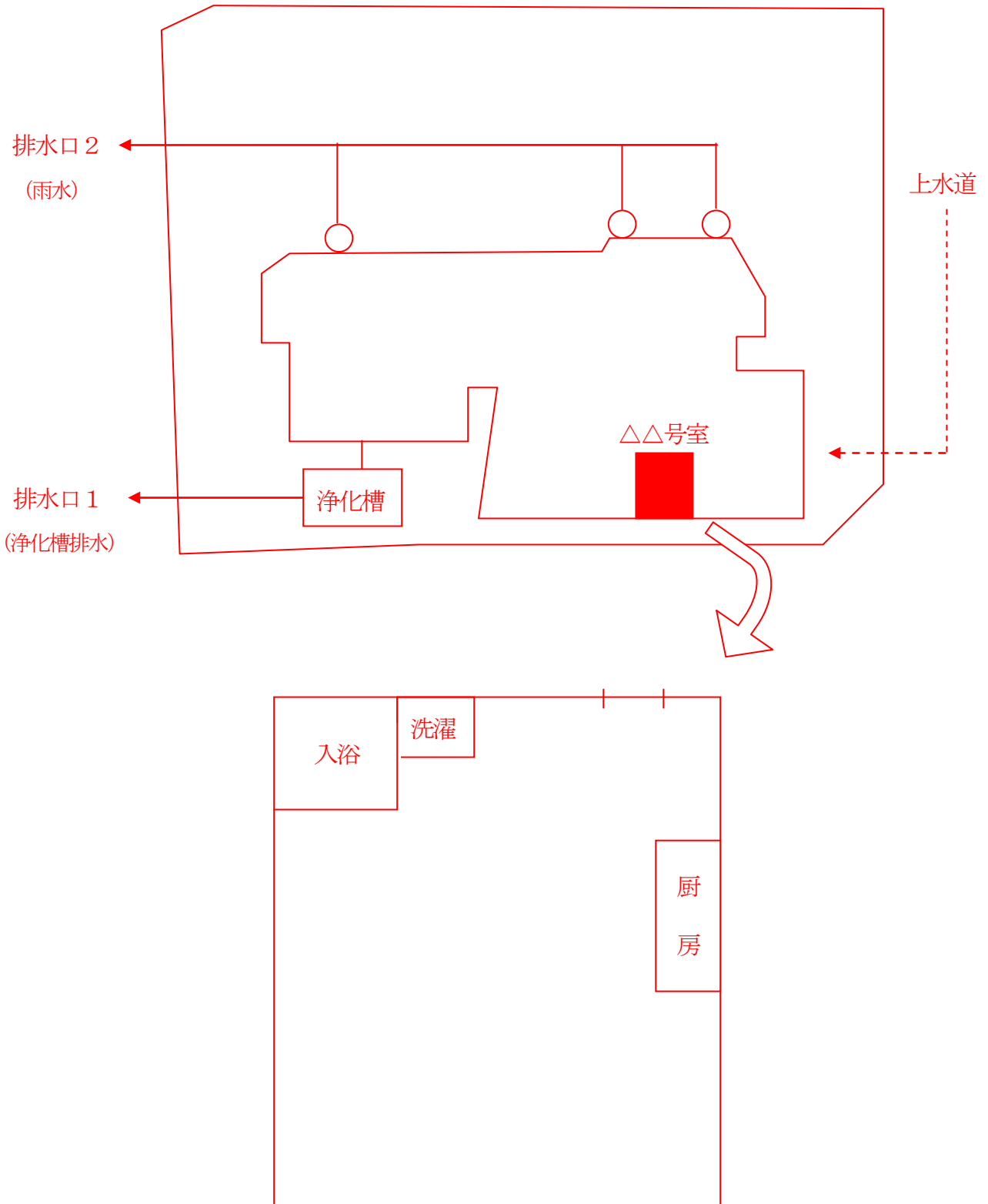


1. 事業場平面図

(第1図)

(特定施設、処理施設の設置場所、集水及び導水の方法、排出水の排出方法)

(例2) マンション等の場合



2. 型式適合認定書別添仕様書及び図面

(第2図)

浄化槽の型式適合認定書別添仕様書及び図面を添付してください。

3. 事業場の位置

(第3図)

事業場の見取図（地図の写し等、周辺の環境が確認できるもの）を添付してください。